



作成：長津小学校

共有ノートを使った協同学習

【内容】○資料を見て気付いたことを話し合い、見つけた課題から、学習問題をつくる。
○グループごとに、調べた内容を報告書にまとめる。

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】5年生社会科「くらしを支える食料生産」

本単元では、主にロイロノートの共有ノートやシンキングツールを活用した。事前に児童が身の回りの食料品の産地調べを行い、教師が地図にまとめた資料を提示した。その資料を見て、気付いたことを一人一人がカードに書いた後、グループで観点ごとにまとめ、話し合った。話し合った内容を全体で共有し、それらの意見をもとに、児童が自身の学習問題を作った。その後、同じテーマの児童と協力しながら調べ学習を行い、調べた内容を基に、グループごとに報告書を作成した。まとめとして他のグループが作成した報告書を読み合い、意見を伝え合った。

児童の産地調べを集約し、産地の分布や食料品を地図にまとめた。

児童が資料を見て気付いたことをカードに書き、グループでまとめた。



【作成した報告書】

【畜産物の産地について調べたこと】

メンバー

- なぜ九州でブロイラーの肉がたくさん作られているの？
昔は閉鎖（とうけい）が盛んな地域でした。そして負けた鶏をみんなで食べるのが日常でした。高級な鶏も脚を育て、負けた鶏を食べていたそうです。
鶏肉は、鹿児島県でつくられている。
- 北海道では何が作られているの？
北海道で一番作られているのは、牛乳です。
① 1位北海道、2位鹿児島県、3位宮崎県、4位岩手県
② 2番目は肉用牛です。3番目は豚です。
- 牛乳はどこでよく作られているの？
牛乳の生産量1位は北海道（3876千トン）、2位栃木県（299千トン）、3位群馬県（247千トン）
④ 最下位は、和歌山県（5千トン）
- 調べて分かったこと（まとめ）
● 鶏肉は、鹿児島県で多く生産されていることが分かりました。
● 牛乳の生産量は、北海道が日本一なのだと分かりました。
● 北海道では、牛乳が多く生産されていることが分かりました。
● 鶏肉などは、鹿児島県（九州の方）でよく生産されていることが分かりました。
● 北海道が一番牛乳の生産量が多いのだなと思いました。
- 参考文献（引用したもの）
● 牛乳の都道府県ランキング (https://unahyoji.com/added-value-of-livestock-products/)
● 北海道の畜産物グラフ (https://www.waic.go.jp/joho-c/p/hw05_000466.html)

【終わりに】

共有ノートを活用することで、児童が、意見をグループや全体で伝え合ったり、調べた情報を簡単に共有したりすることができた。また、調べ学習や報告書作成においても、役割を分担しながら同時に進めることができた。感染症対策の観点でも、話し合いで密になることや、道具を共有することもないので良かったと思う。今後も、協同学習の場面で積極的に取り入れていきたい。

☆児童のつぶやき☆

- ・報告書を作るとき、友達とどう工夫すれば読む人に伝わりやすいか話し合うことができた。
- ・それぞれのグループの報告書を読んで、今まで知らなかったことが知れて良かった。

☆教育委員会主幹講評☆ ロイロノートを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいる好事例の紹介でした。社会科において、ICTを活用する際には、児童生徒が、自ら問題意識を持ち、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集し、情報を読み取り、情報を分類・整理してまとめる学習活動の構成が大切となります。今回のように児童の学び方や調べ方を大切にし、児童の主体的な学習を重視する取組は、ICTの活用において重要なポイントとなります。また、自分なりに考え分析した情報を他の児童と共有したり、他の児童の考えを参考にしたりする活動により「対話的で深い学び」を実現しています。コロナ禍においても、意見や考えを伝え合う新たな協働学習の開発に向け、更なる工夫改善を加えた実践の積み重ねをお願いします。